

学習内容報告書 フォーマット

学校名	山形県鶴岡市立大山小学校
授業者	1年担任：本間 絢子、山口 媛花

1. 単元計画

1-1. 単元名

海の学習（加茂水族館探検）

1-2. 学年

第1学年

1-3. 教科

生活科、道徳、図工

1-4. 単元の概要

- ・本校では、全学年を対象として海に関わる学習を実施している。1年生の段階では、自分たちで課題を設定し、解決していく活動に取り組むことは難しいため、水族館の見学をメインの活動にして単元構成をした。
 - ・学区内に「クラゲドリーム館（加茂水族館）」があることから、水族館との連携を図り、子どもたちが取り組む海の学習の入り口として、興味関心を持つことができる内容を検討しながら実施した。
- 【カリキュラムマネジメント】**
- ・生活科を中心として、道徳や図工との関連も図った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

加茂水族館を見学し、海の生き物に触れることを通して、海の不思議さや多様性についての興味や関心を持つ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

◇知識・技能

- ・海にはたくさんの生き物がいることを知る。

◇思考力・判断力・表現力

- ・見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議に思ったことを自分なりの表現の仕方でもとめることができる。

◇学びに向かう人間性

- ・興味や関心を持ちながら、活動に取り組もうとする。
- ・見学を通して、海の生き物のおもしろさや不思議さを感じることができる。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	生活科 ○活動オリエンテーション ・活動のめあての確認 ・活動内容を知る	◆ねらいを理解させる →単に見学に行くだけでなく、「発見」をしてくる ということがめあてであることを児童が理解し た上で見学に臨めるように指導
2 ～ 5	生活科 ○クラゲドリーム館（加茂水族館）見学 ・校外学習として実施 ・一般の来場者と同様に水槽やショーの見学	■クラゲドリーム館施設案内ボランティア →各水槽の生き物の説明をしてくださる方からの 支援をいただいた。
6 7	生活科・図工 ○見学のまとめ ・絵と文で、体験をまとめた。 ・自分が見つけたことがわかるようにワークシ ートを活用	◇見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議 に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫してま とめることができたか
8	生活科 ○体験発表 ・自分がまとめたシートを使って、発表	◇相手に伝わるように話すことができたか。

2. 学習活動の実際



2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

加茂水族館で生き物とのふれ合いや見学活動を通して、海にはたくさんの生き物がいることを知る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 学校発→バス移動 2 会場着 3 見学活動開始</p> <p>○すでに数回来館している児童が多数であったが、ガイドボランティアさんの説明を聞きながらの見学は初めてで、より詳しく一つ一つの生き物の特徴についての説明に興味を高めていた。</p>  <p>4 見学終了 5 水族館発→バス移動</p>	<p>教師は、活動の見守り、児童のつぶやきを拾い、興味や関心が高まるように関わる。</p>  <p>■加茂水族館ガイドボランティアの方からついていただき、説明をしていただいた。</p>

3. 今回の活動の自己評価

成果○課題▲

- 生き物の面白さを感じるだけでなく、地域の中に誇れる場所があることも実感できる活動になった。
- 2年生の活動までの流れを確認したことで、ねらいが焦点化された。

4. 今後の課題

- ・持続可能な活動にしていくための仕組み作りをおこなっていくこと（すべての活動に共通する課題であり、取り組むべきこと）

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・活動の実践としては、いわゆる校外学習的な活動ではあるが、前述のとおり、1年生の海の学習として位置付けた活動となるので、他学年の実践と合わせて見ていただくことが必要。